



ご報告：キルギス共和国（山岳救助隊）救急車寄贈事業

2018年度海外援助事業として、キルギス共和国（山岳救助隊）へ日本の自治体より無償譲渡いただいた救急車を寄贈しました。

車両現地到着後の2019年11月9日から7日間、矢野口自工株式会社から整備士の派遣協力をいただき、メンテナンス研修を兼ねて車両の確認を行いましたので、併せてご報告いたします。

<輸出前及び現地写真>

<p>1</p>	<p><寄贈物品></p> <p>寄贈した救急車4台</p> <p>左端から野田市、横浜市、川口市（2台）供出車両。</p> <p>直ぐに運用できるように、スクープストレッチャーを追加して寄贈した。</p>	
<p>2</p>	<p><メンテナンス研修></p> <p>意見交換を行う指導員の矢野口自工（株）赤羽直基氏（右側中央）</p> <p>研修には救急車4台の配備先となる山岳救助隊、ケミン及びアスク地域を管轄するの医療センターから合計11名が参加した。</p>	

<p>3</p>	<p><メンテナンス研修></p> <p>山岳救助隊の保有する整備工場</p> <p>現地では点検整備のノウハウを持っており、定期的の実施している。</p>	
<p>4</p>	<p><メンテナンス研修></p> <p>配備先の環境を視察</p> <p>首都ビシュケクから実際に車両が活動するエリアを走行し、留意点などを共有・助言した。</p>	
<p>5</p>	<p><修了式></p> <p>在キルギス日本国大使館 魚井 雄一郎 参事官（写真中央）立会いの下、参加者へ修了証を手交</p> <p>左端から通訳のセルゲイ氏、一般社団法人日本外交協会 海外援助事業課長 林田雅明、山岳救助隊ウラディミール・コミサルフ会長、魚井参事官、赤羽氏、矢野口自工(株)菊池 葵氏。</p>	